資料３

国の第２期循環器病対策推進基本計画について

１　主な変更点について

(1)「循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項」に**「他疾患等に係る対策との連携」、「感染症発生･まん延時や災害時等の有事を見据えた対策」**の２項目を追加

(2)「循環器病の特徴と対策」において「予防、急性期、回復期～慢性期」の３**つの枠組み**から「啓発･予防、急性期、回復期～慢性期、**生活期･維持期**」の４**つの枠組みに変更**

第２期循環器病対策推進基本計画　概要

全体目標　**2040年までに３年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少**

個別施策　循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備　循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

１．循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○　循環器病の発症予防及び重症化予防
○　子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
○　循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

２．保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
② 救急搬送体制の整備
③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
④ リハビリテーション等の取組
⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
⑥ 循環器病の緩和ケア
⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

３．循環器病の研究推進

○　循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
○　科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

（１）関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
（２）他の疾患等に係る対策との連携
（３）感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
（４）都道府県による計画の策定
（５）必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
（６）基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>

（令和５年３月 28 日付け健発 0328 第 12 号、厚生労働省健康局長通知「循環器病対策推進基本計画の変更について」より）

２　国の現行の循環器病対策推進基本計画

循環器病対策推進基本計画案　概要

全体目標　**「１．循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」「２．保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」「３．循環器病の研究推進」**に取り組むことにより、2040年までに3年以上の**健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少**を目指して、予防や医療、福祉サービスまで幅広い**循環器病対策を総合的に推進**する。

（3年間：2020年度～2022年度）

＜循環器病※の特徴と対策＞

予防（一次予防、二次予防、三次予防）　→　急性期　→　回復期～慢性期

再発・合併症・重症化予防

※脳卒中・心臓病その他の循環器病

健康寿命の延伸・年齢調整死亡率の減少

個別施策

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備　► 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組み構築

１．循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○ **循環器病の発症予防及び重症化予防、子どもの頃からの国民への循環器病に関する知識(予防や発症早期の対応等)の普及啓発**

２．保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- **① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進**　► 特定健康診査・特定保健指導等の普及や実施率向上に向けた取組を推進
- **② 救急搬送体制の整備**　► 救急現場から医療機関に、より迅速かつ適切に搬送可能な体制の構築
- **③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築**　► 地域の実情に応じた医療提供体制構築
- **④ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援**　► 多職種連携し医療、介護、福祉を提供する地域包括ケアシステム構築の推進
- **⑤ リハビリテーション等の取組**　► 急性期～回復期、維持期・生活期等の状態や疾患に応じて提供する等の推進
- **⑥ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援**　► 科学的根拠に基づく正しい情報提供、患者が相談できる総合的な取組
- **⑦ 循環器病の緩和ケア**　► 多職種連携・地域連携の下、適切な緩和ケアを治療の初期段階から推進
- **⑧ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援**　► 手足の麻痺・失語症・てんかん・高次脳機能障害等の後遺症に対し支援体制整備
- **⑨ 治療と仕事の両立支援・就労支援**　► 患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取組を推進
- **⑩ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策**　► 小児期から成人期にかけて必要な医療を切れ目なく行える体制を整備

３．循環器病の研究推進

○ **循環器病の病態解明や予防、診断、治療、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発**
- ► 基礎研究から診断法・治療法等の開発に資する実用化に向けた研究までを産学連携や医工連携を図りつつ推進
- ► 根拠に基づく政策立案のための研究の推進

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進

○ **関係者等の有機的連携・協力の更なる強化、都道府県による計画の策定、基本計画の評価・見直し　等**

「第５回循環器病対策推進基本計画に関する都道府県説明会（2021 年 3 月 17 日）資料より」

3　指標について

(1) 国の示す脳卒中にかかる指標例

（●は重点指標）

	予防･啓発	救護	急性期	回復期	維持期･生活期	再発・重症化予防
ストラクチャー	（＊）脈不整、共同偏視、半側空間無視(指４本法)、失語(メガネ/時計の呼称)顔面麻痺、上肢麻痺の６項目	脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する６項目(＊)の観察指標を利用している消防本部数	脳神経内科医数・脳神経外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		脳卒中患者の重症化を予防するためのケアに従事している看護師数
			脳卒中の専用病室を有する病院数･病床数			歯周病専門医が在籍する医療機関数
			脳梗塞に対するｔ-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数			
			● 脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数			
			脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数			
			理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のそれぞれの人数			
			リハビリテーション科医師数			
			● 脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数			
プロセス	喫煙率	脳血管疾患により救急搬送された患者数	脳梗塞に対するｔ-PAによる血栓溶解療法の実施件数	● 脳卒中患者に対する療養･就労両立支援の実施件数		脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数
	特定健康診査実施率		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数		脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	
	特定保健指導実施率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数			
	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数			
	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数			
			脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数			
アウトカム		救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	退院患者平均在院日数			
			● 在宅等の生活の場に復帰した患者の割合			
	脳血管疾患の年齢調整死亡率					

(2) 国の示す心血管疾患にかかる指標例

（●は重点指標）

	予防･啓発	救護	急性期	回復期	慢性期	再発・重症化予防
ストラクチャー			循環器内科医師数・心臓血管外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数
			心臓内科系集中治療室（CCU)を有する医療機関数･病床数	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数		歯周病専門医が在籍する医療機関数
			心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数			
			心大血管リハビリテーション科届出医療機関数			
プロセス	喫煙率	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民による除細動の実施件数	急性心筋梗塞患者に対するPCI実施率	心血管疾患患者に対する療養･就労両立支援の実施件数		
	特定健康診査実施率	虚血性心疾患及び大動脈疾患により救急搬送された患者数	● PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の冠動脈再開通割合		心血管疾患患者における介護連携指導の実施件数	
	特定保健指導実施率		虚血性心疾患に対する心血管外科手術件数	心血管疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数		
	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		大動脈疾患患者に対する手術件数			
	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率		● 入院心血管リハビリテーションの実施件数			
				● 外来心血管リハビリテーションの実施件数		
アウトカム		● 救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	● 虚血性心疾患及び心血管疾患の退院患者平均在院日数			
			● 在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合			
	● 虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率					

(1)、(2) ともに、令和４年度厚生労働科学研究「地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究」研究報告書より引用